open関数のモード一覧

- `mode` における `r` と `t` は、デフォルトである（指定が無い時）
  - つまり、`r`・`t` は、明記されていない場合が多い
  - また、キーワード引数でも位置があっていれば省略できるので、`mode` は、ほとんど省略されている

r･w･a･x　t･b　+（各文字ごとに確認）

- **r**
  - 読み込み（ファイルが無ければ失敗する）
- w
  - 書き込み（既存の内容は削除し上書きする / 無ければ新規作成する）
- a
  - 追記の書き込み（既存の内容に追加する / 無ければ新規作成する）
- x
  - 排他的な生成に開き、ファイルが存在する場合は失敗する

- **t**
  - テキスト
- b
  - バイナリ

- +
  - 読み書き対応
  - ~~r･w･a･x に付けられ、それらの特性を引き継ぐ~~
    ↑ と思いきや、実際にコードで確かめると、そんなに単純ではないようだ！
    ただ、この問題が出ても、他のが理解できれば消去法で答は分かると思います。
    対処できない場合もあり得るが、そこまで難しい問題が出るのだろうか？AIも間違えていたし。

補足事項

- この組み合わせで、16通りのモードがあることになる　("wt" と "w" などは、同じmodeです)
  - 【r/w/a/x】x【t/b】x【+あり/+無し】（4 x 2 x 2）
- 文字の並びは寛容であるが、慣習的な順序（アクセスモード、+、ファイルタイプの順）はある
  - 例１："r+b"　　r　w　a　x
  - 例２："x+b"